



上三川町

DX

推進計画

令和7年5月

第1.2版

# 目次

- 1 背景・目的
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画期間
- 4 基本方針
- 5 重点取組事項
- 6 推進体制の構築
- 7 推進手法
- 8 推進手法の考え方
- 9 用語集

# 1. 背景・目的

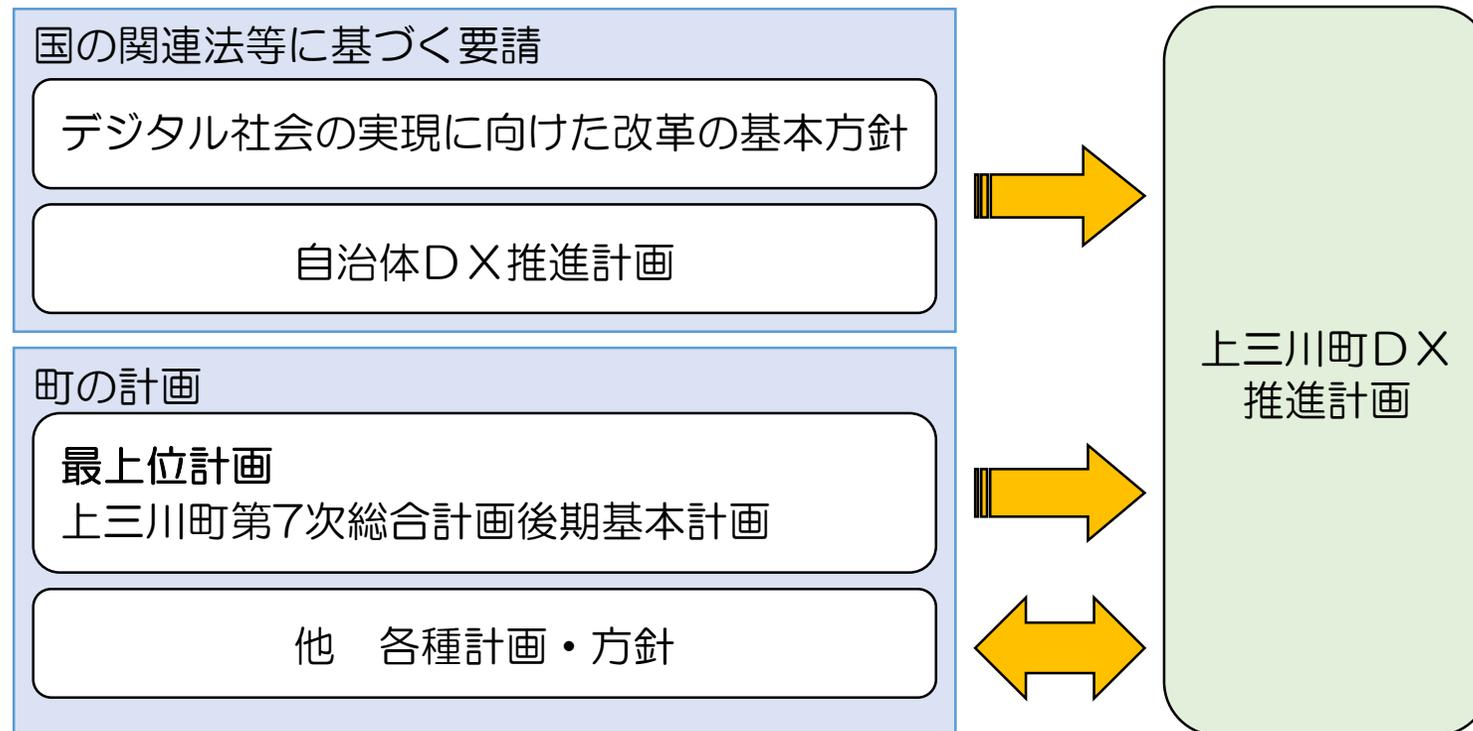
国において「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針（令和2年12月）」が閣議決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。このビジョンの実現のためには、住民に身近な行政を担う市区町村の役割は極めて重要であると認識し、デジタル社会構築に向けた各施策の効果的な実行に向けて、足並みを揃えてデジタル化に取り組む必要があります。

また、デジタル技術やデータを活用し、利用者目線に立って新たな価値を創出する言わば社会全体のDXが求められる中、国から自治体が重点的に取り組むべき事項・取組みをまとめた「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」及び「自治体DX推進手順書」が示されました。

これら国の基本理念・方針を踏まえ、上三川町においてもデジタル技術を活用し、町民サービスの向上や行政運営の効率化を図ることを目的として、「上三川町DX推進計画」を策定し実行していきます。

## 2. 計画の位置づけ

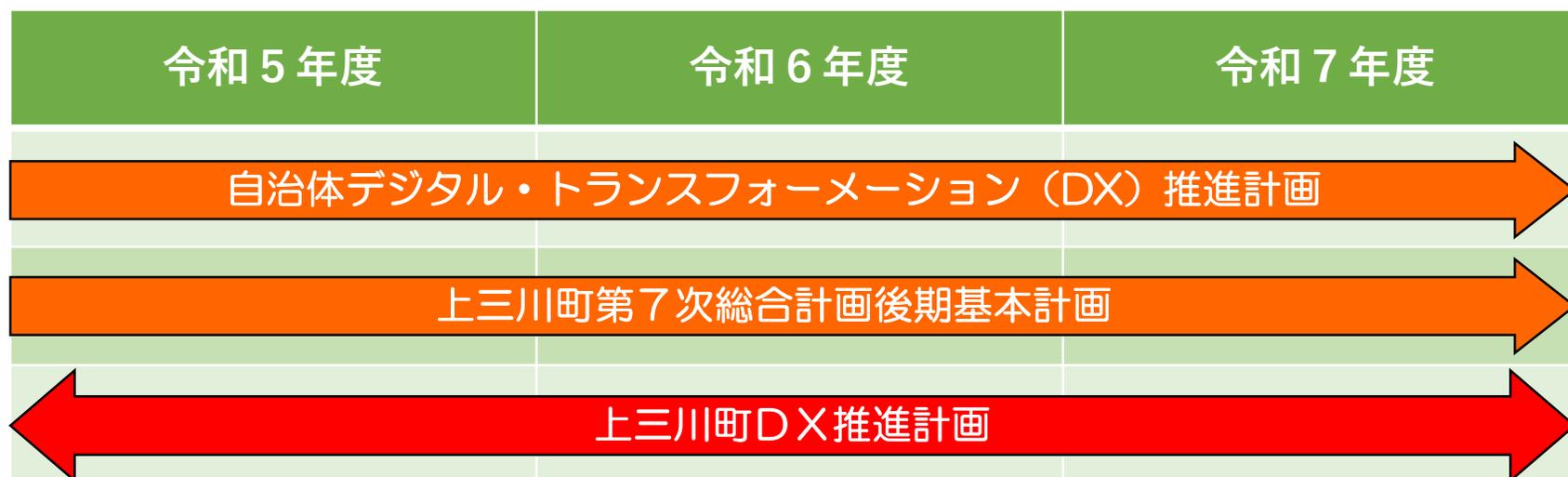
「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」が示す方向性や、「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」が示す取組内容を踏まえ、本町で具体化していくための計画として位置付けます。また、「上三川町第7次総合計画後期基本計画」で掲げる将来像「共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち」の実現を目指すうえで、デジタル化による行政の効率化や町民サービスの向上のための基本的な方針を示すものであり、本町の各部局が進めるDXやデジタル化の取組みが盛り込まれた各種計画や方針との整合を図ります。



### 3. 計画期間

上三川町DX推進計画の期間は、国が進める施策との整合・連携を図る必要があることから、計画の終期を国が策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）計画」の計画終期（令和8年3月）と合わせることとし、本計画は、令和5年度から令和7年度までの3年間を計画期間とします。

なお、社会情勢や国・県の動向等変化に応じて、期間内であっても、必要に応じて適宜見直しを行います。



## 4. 基本方針

国のビジョンである「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」を目標に、地域のデジタル化を視野に入れつつ、3つの方針を設定します。

### (1) 町民サービスの利便性向上

いつでもどこでもサービスが受けられるよう、行政手続のオンライン化などを進めるとともに、これに伴う手続方法の見直しや添付書類の簡略化などを推進し、利便性の高い行政サービスの実現を目指します。

### (2) 行政の業務効率化

社会情勢の変化や町民ニーズの高度化により多様化・複雑化した行政運営に対し、デジタル技術を主軸とした業務改革を全庁的に行い、町民サービスの質の向上や効率的で機能的な行政運営を目指します。

### (3) セキュリティの確保

社会情勢の変化に適應した行政運営には、デジタル化によりデータの取り扱う機会が増大することから、安全な行政運営のためのセキュリティ対策の徹底を目指します。

## 5. 重点取組事項

3つの基本方針を柱とし、国の策定した「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」の示す重点取組事項に取り組めます。

### (1) 町民サービスの利便性向上

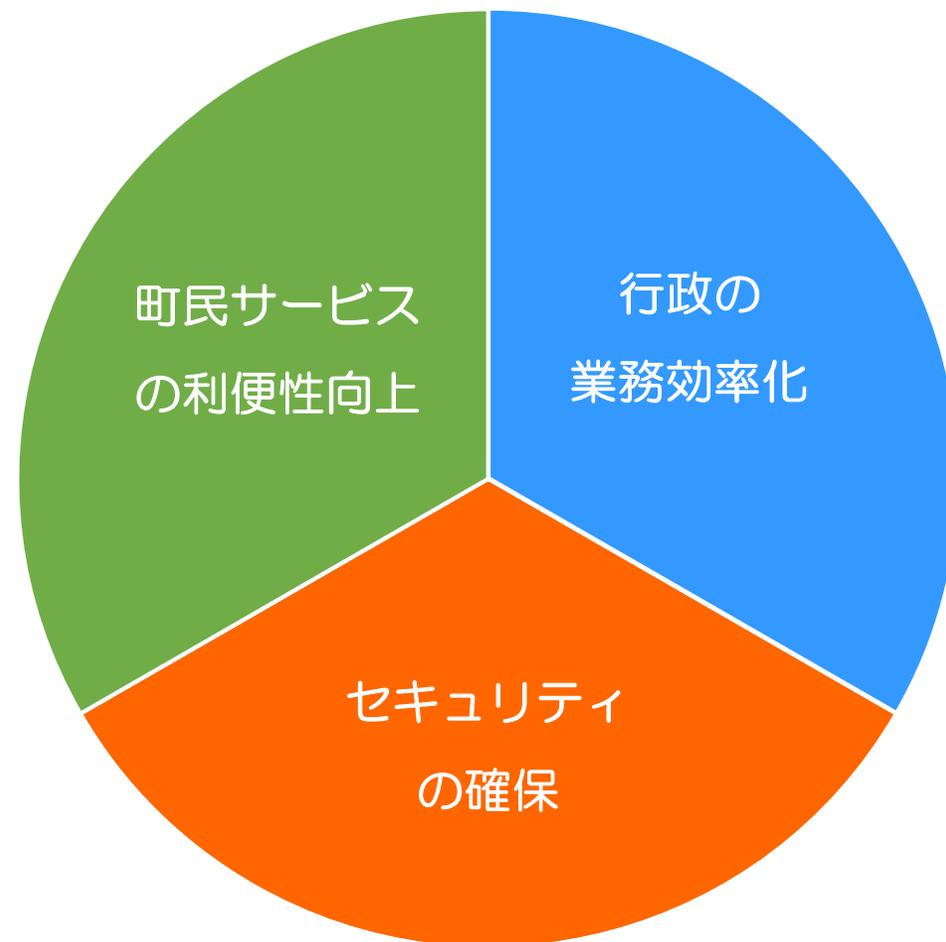
- フロントヤード改革の推進
- 公金収納におけるeL-QRの活用
- 行政手続のオンライン化
- マイナンバーカードの普及促進・利用の推進
- オープンデータの推進

### (2) 行政の業務効率化

- 情報システムの標準化・共通化
- AI・RPAの利用推進
- テレワークの推進
- デジタル原則に基づく条例等の点検、見直し

### (3) セキュリティの確保

- セキュリティ対策の徹底



# 6. 推進体制の構築

## (1) 組織体制の整備

最高情報統括責任者（C I O、副町長）を中心とする「上三川町DX推進委員会」において、本計画の推進及び進捗管理を行います。また、各部署への「DX推進協力員」の配置や、ワーキンググループを設置することで、部署や所管業務を超えた取組みを促します。

### ①DX推進委員会

DXに関する施策の決定組織

- 推進方針
- 重要施策の方向性
- 具体的な取組み

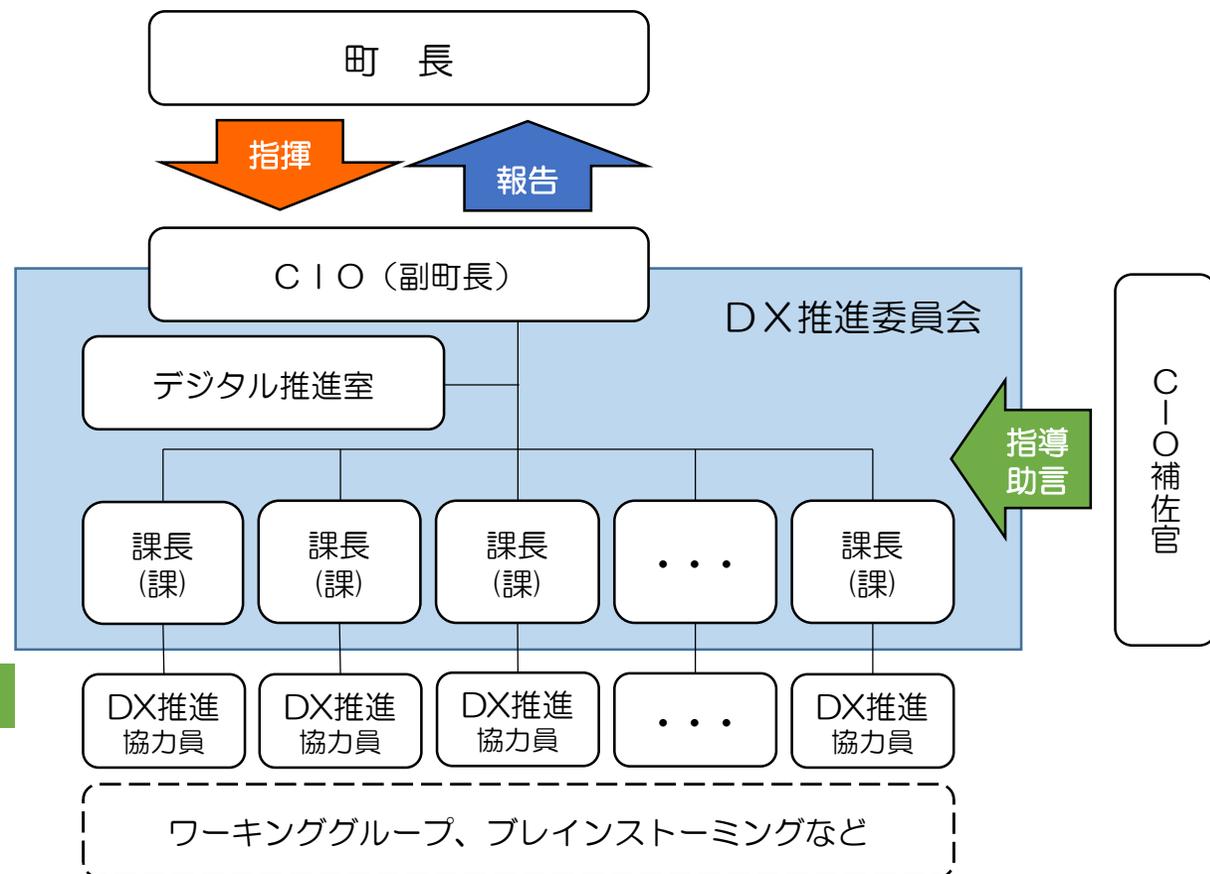
### ②DX推進協力員

各所属においてDX推進の中心となる職員

- DXの進捗管理
- DXの推進、調査及び研究

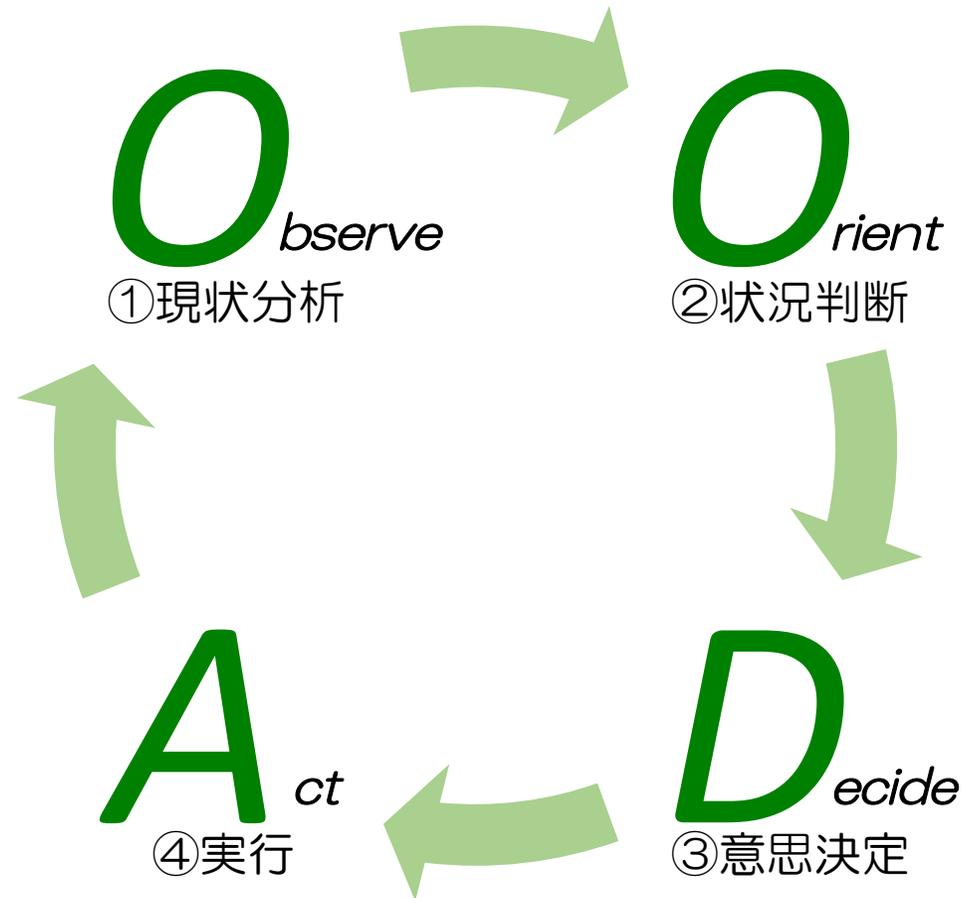
## (2) デジタル人材の育成

一般行政職員のデジタルリテラシー向上だけでなく、DX推進リーダーの育成にも取り組みます。



## 7. 推進手法

社会情勢や目まぐるしく発展する情報通信技術等の急速な変化に対し、変化の状況を観察し素早く判断して臨機応変に対応できるようにするため、本計画については「OODAループ」を活用していきます。



## 8. 推進手法の考え方

単に新技術の導入等でアナログな業務をデジタル化するだけでなく、デジタルを前提とした新たな業務プロセスの再構築を行い変革していくことが重要です。

本計画においては、次の3つのステップを経て実現を目指します。

### (1) デジタイゼーション / アナログからデジタルへ

業務効率化のためにデジタルツールを導入して業務のデジタル化を目指します。

### (2) デジタライゼーション / 業務プロセス全体のデジタル化

庁内や外部環境、ビジネス戦略といった業務プロセスを整理してまるごとデジタル化し、デジタルデータを前提とした新たな社会基盤の構築を目指します。

### (3) DX / 新たな価値創造

町民ファーストのサービス思考を取り入れた業務改革と新たな社会基盤を構築し、町民が利便性を感じられるサービスを目指します。

## 9. 用語集（1）

| 用語                  | 解説   |
|---------------------|--|
| AI                  | Artificial Intelligence（アーティフィシャルインテリジェンス）の略で、人工的な方法による学習、推論、判断等の知的な機能の実現及び人工的な方法により実現した当該機能の活用に関する技術のこと。                  |
| DX                  | Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）の略で、デジタル（Digital）と変革を意味するトランスフォーメーション（Transformation）により作られた造語。英語圏では、TransをXと略す。   |
| eL-QR<br>（エルキューアール） | 総務省と全国銀行協会によって共催された「地方税におけるQRコード規格に係る検討会」にて定義された二次元コードのこと。利用者がPCやスマートフォンから電子納付する場合や、金融機関に納付書を持ち込んだ場合等に、納付書の情報を読み込むために使用する。 |
| RPA                 | Robotic Process Automation（ロボティックプロセスオートメーション）の略で、ソフトウェアロボットによる事務処理の自動化のこと。  |
| オープンデータ             | 国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう公開されたデータのこと。   |
| 情報システム              | 市町村における情報システムは、主に、基幹系業務システム（住民基本台帳、固定資産税など17業務）及び内部管理事務系システム（人事給与、財務会計等）により構成されている。  |
| 情報システムの<br>標準化・共通化  | 各自治体が導入している情報システムを標準化の仕様書に準拠したシステムにすることで、各サービスのシステム連携を行えるようになり、自治体ごとの調整などが不要になる。また、システム開発や運輸コストの削減も期待できる。                  |
| デジタイゼーション           | 業務のデータ化やICTツールの導入など、業務の一部をアナログからデジタルに置き換えること。  |
| デジタルイゼーション          | 業務プロセス全体をデジタル化により再構築することで、新たな行動様式や価値を生み出すこと。   |
| デジタルリテラシー           | デジタル技術に関して十分な理解をもち、それを適切に活用することができるスキルのこと。また、デジタル技術に関する知識、スキル、順応性などを包括的に示した概念であり、ITリテラシーと呼ばれることもある。                        |

## 9. 用語集（2）

| 用語         | 解説   |
|------------|--|
| テレワーク      | tele（離れたところ）とwork（働く）を合わせた造語。在宅勤務、サテライト勤務など情報通信技術を活用し、時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方。            |
| フロントヤード    | 自治体と住民の接点となる庁舎窓口や公共施設などを意味し、具体的には、行政手続きや行政からの通知、行政が行う広報などがフロントヤードに含まれる。                |
| ブレインストーミング | 問題の解決策や新しいアイデア創出するために会議で使用される「集団発想法」であり、複数人でアイデアを出し合うことで、短時間でたくさんの新しいアイデアを集めることを目的とする。 |
| ワーキンググループ  | グローバルな社会課題解決について、組織をこえた仲間同士で情報共有・学習を行い、活動を促進し、協力して達成・改善を図る部会のこと。                       |

未来に羽ばたくまち かみのかわ



ORIGAMI のまち  
かみのかわ

## 上三川町DX推進計画

上三川町デジタル推進室  
〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地  
Tel : 0285-56-9188  
Mail : [kamidx@town.kaminokawa.lg.jp](mailto:kamidx@town.kaminokawa.lg.jp)